

日本箱庭療法学会会員のみなさま

日本ユング心理学会登録会員・聴講生・候補生のみなさま

このたびの東日本大震災において被災された皆様、関係者の方々に心よりお見舞いを申し上げます。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、衷心より哀悼の意を表します。

すでに東日本大震災心理支援センターが立ち上がり、関連諸団体においても心理支援活動が開始されておりますが、このような未曾有の大震災の発生を受け、共通の理論的立場をもつ日本箱庭療法学会と日本ユング心理学会が、被災された会員のサポート・心理支援に協同して取り組んでいくことになりました。具体的な活動を開始するにあたり、両学会が下記のような合同震災対策ワーキンググループ（以下、WG）を立ち上げることとなりましたので、ここにご報告させていただきます。

1. 震災対策 WG の構成

委員長：河合俊雄

副委員長：角野善宏

日本箱庭学会側委員：田中康裕、岸良範、川原 稔久、宇田川 一夫

日本ユング心理学会側委員：川戸圓、豊田園子

事務局：畑中千紘、長谷川千紘 E-mail: sandajai@educ.kyoto-u.ac.jp

2. 活動指針

関連諸団体の活動と連携を図りつつ、学会の特性を生かした支援の方向性を探り、以下のような支援活動を長期的に行っていく。

- ・箱庭や描画など、イメージを媒介とした心理的ケア
- ・学校などを通じた子どもたちへのケアに重点を置く
- ・被災地で実際に心理支援に当たっている方にむけた研修・スーパーヴィジョン等、援助者にむけたサポート
- ・被災者の会員に対して大会や研修会等の参加費の減免
- ・マスメディア等による侵襲的でこころを傷つける取材活動への抗議・中止勧告

3. 支援活動のために

日本箱庭療法学会においては、特別会計より震災対策特別予算を組む。

日本ユング心理学会においては、その震災対策活動に対する IAAP（国際分析心理学会）からの寄付と基金の提供を行う。

会員の皆様からの情報提供を含めたご協力、震災対策 WG の活動へのご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

河合俊雄（震災対策 WG 委員長、日本箱庭療法学会常任理事、日本ユング心理学会副会長）